

TNFD^{※1}フレームワークに基づく 自然関連情報の試行開示を開始

— 当社が唯一の日本企業として参画する、
水と土地の利用に関する目標設定の方法論を検証する
SBTNの試験運用での分析と進捗を踏まえた開示 —



Taskforce on Nature-related Financial Disclosures

サントリーグループは、TNFD^{※1}の開示フレームワークに基づいた自然関連情報の試行開示を9月29日（金）より開始します。「サントリーグループ サステナビリティサイト」内「生物多様性」ページにて公開しています。（URL：https://www.suntory.co.jp/company/csr/env_biodiversity/tnfd/）

※1 自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures）

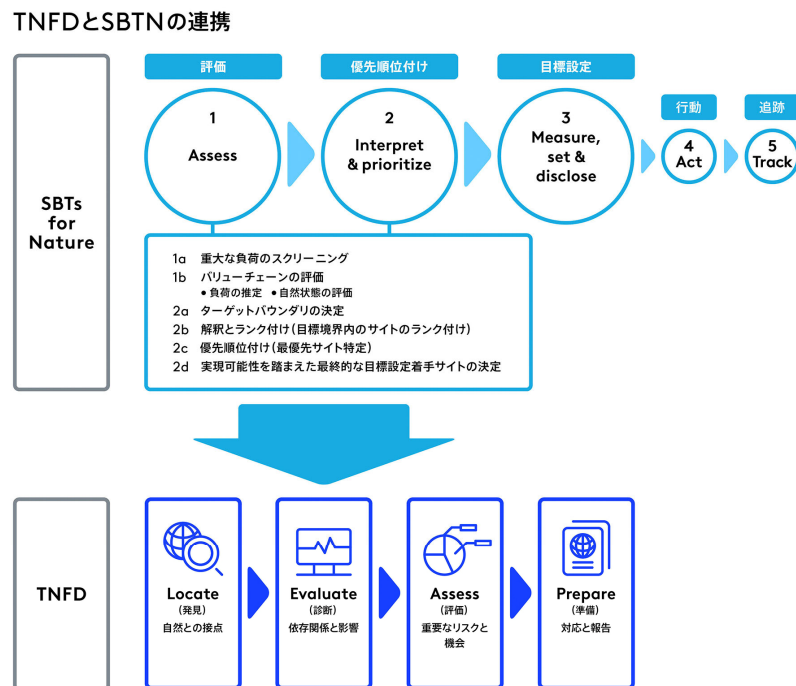
開示においては、サントリーホールディングス（株）が唯一の日本企業として参画する、水と土地の利用に関する目標設定の方法論を検証するSBTNの試験運用での分析と進捗を踏まえています（ニュースリリース No.14393 参照）。また今回は、自社事業の自然との影響・依存関係の評価を踏まえ、酒類事業における水使用について開示を行います。

TNFDは、生物多様性の減少傾向を食い止め、回復を目指す「ネイチャー・ポジティブ」に貢献する国際的な情報開示のフレームワークを展開し、気候関連の財務情報の開示に関するフレームワークであるTCFD^{※2}に続くものとされています。2019年世界経済フォーラム年次総会で着想され、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）、国連開発計画（UNDP）、世界自然保護基金（WWF）、イギリスの環境NGO「グローバルキャノピー」により、2021年

6月に設立された国際的な組織です。具体的には、自然関連のビジネスへの依存と影響を評価のうえリスク・機会について分析を実施し、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の観点から開示することを求められます。

※2 気候関連の財務情報の開示に関するタスクフォース (Taskforce on Climate-related Financial Disclosures)

今回、TNFDフレームワークの特徴である「LEAPアプローチ」のL (Locate: 発見)、E (Evaluate: 診断)、A (Assess: 評価)、P (Prepare: 準備)の4ステップのうち、LとEについては、SBTNの目標設定ステップ第1・第2段階である「評価」「優先順位付け」での、直接操業とサプライチェーン上流の分析結果を活用しました。Aについては、L、Eの結果を踏まえ、酒類事業の直接操業を対象に分析を行っています。



図：TNFDとSBTNの連携

この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

サントリーグループは、自然と水の恵みに生かされる企業として、「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命 (いのち) の輝き』をめざす。」をわたしたちの目的に掲げ、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。

今後は、SBTNでの試験運用の進捗を踏まえた目標設定や、リスクと機会のさらなる分析、ならびに具体的な対応策を戦略に反映させ、科学に基づく世界の共通基準と整合した「ネイチャー・ポジティブ」の実現を目指します。

●サントリーホールディングス（株）常務執行役員

サステナビリティ経営推進本部長 藤原 正明 コメント

水や農作物など、自然の恵みに支えられたグローバルな食品酒類総合企業として正しい行動を起こすためには、気候変動、生物多様性、水の危機という深く関連し合う課題に対し、包括的に向き合うことが不可欠です。科学的根拠に基づいたS B T Nの方法論の試験運用、ならびにその内容を踏まえたT N F D試行開示を通して、広くステークホルダーの皆様との対話を行い、真の「ネイチャー・ポジティブ」の実現を目指します。

▼サントリーグループのサステナビリティ

<https://www.suntory.co.jp/company/csr/>

▼サントリーグループの「生物多様性」

https://www.suntory.co.jp/company/csr/env_biodiversity/

▼サントリーグループの「T N F D提言に基づく開示」

https://www.suntory.co.jp/company/csr/env_biodiversity/tnfd/

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。